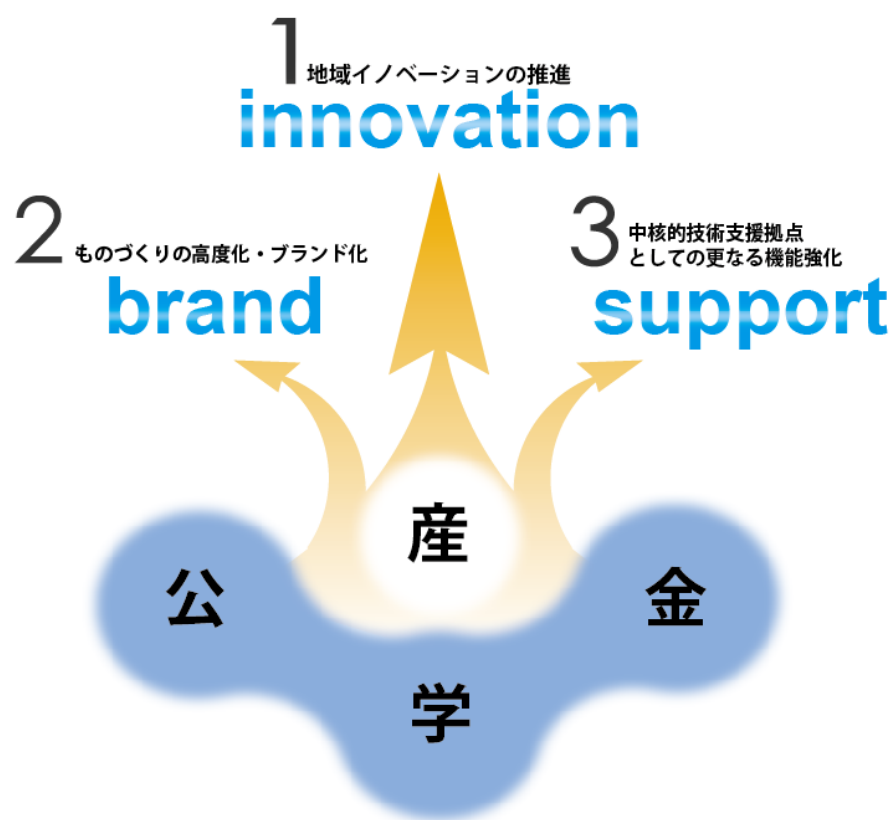


第二期中期目標期間における業務の実績に関する報告書 (中期目標期間(見込み)評価)

業務実績・決算の概要

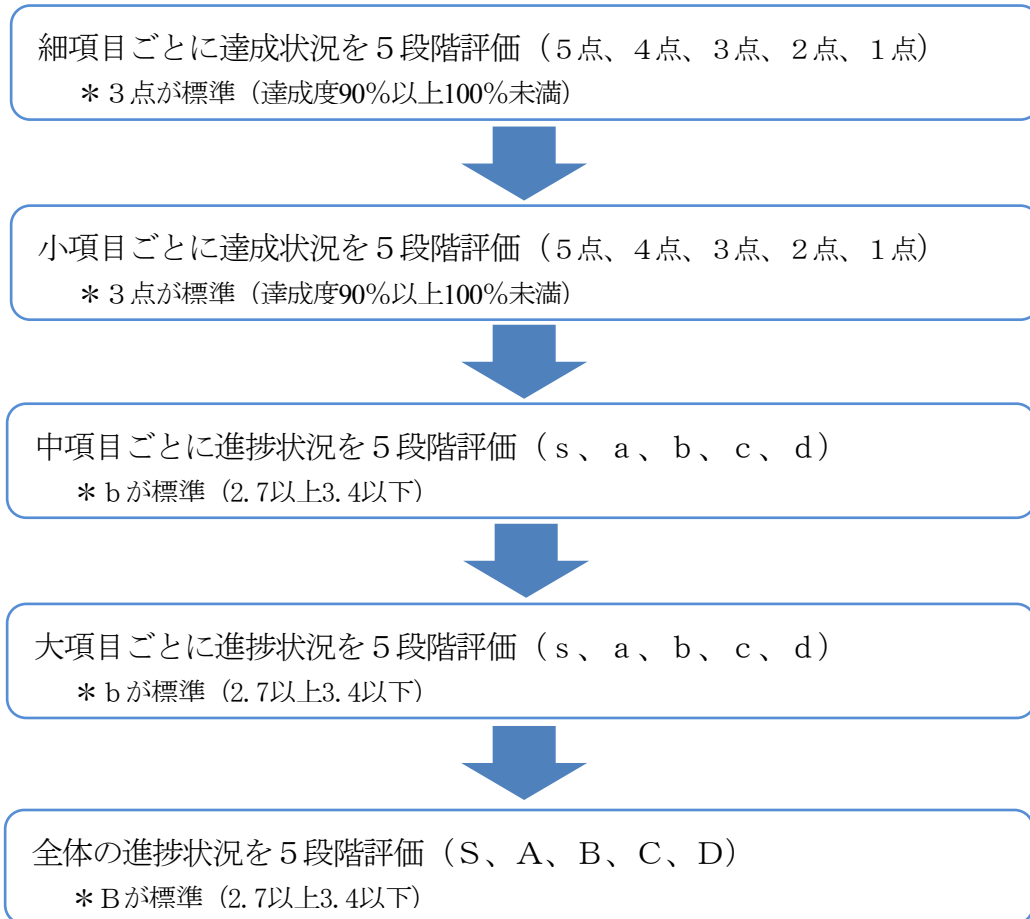


第二期中期目標期間：平成26年度～平成30年度

第二期中期目標期間（H26～H30 年度）における業務実績 （H29 年度終了時点での見込み）

1 自己評価結果

(1) 自己評価の方法



(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期目標を十分達成（A評価（A）：3.7ポイント）の見込みである。

大項目別評価の評点平均値に各大項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.7（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.4）であり、「A評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

◆評定の概要

別表のとおり

2 自己評価の総括

(1) 全体的な状況

4つの大項目の内、「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上」及び「財務内容の改善」は「a評価」で中期目標を十分達成見込みであり、「業務運営の改善及び効率化」及び「その他業務運営に関する重要事項」は「b評価」で中期目標を概ね達成の見込みである。

(2) 大項目ごとの状況

第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

評 定 中期目標を十分達成見込み (a)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウエイトを乗じて得た数値の合計値は3.8（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.8）であり、「a評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

「県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項」を構成する3つの中項目である「戦略産業の育成・集積に向けた地域イノベーションの推進」、「中小企業力の向上に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進」及び「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化」のすべてにおいて進捗はa評価であり、中期目標を十分達成見込みである。

【特記事項】

- 「地域イノベーション戦略支援プログラム」及び「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」を獲得して、イノベーション推進センターの体制や取組を充実
- イノベーション推進センターや産学公連携室を中心とした企業・大学等訪問による積極的なコーディネート活動による国等の提案公募型事業（競争的資金）獲得における多数の成果
- 研究開発の順調な進捗、やまぐち3Dものづくり研究会（H26）と衛星データ解析技術研究会（H28）の新規設立と既存研究会を含めた4つの研究会の積極的な活動、県内企業における技術革新計画の承認支援、国等の提案公募型事業の獲得及び企業の製品化で大きな成果
- 宇宙航空研究開発機構（JAXA）機能の一部移転の受入、水素関連技術支援拠点機能や海外展開支援機能の強化、産業技術センターの3Dものづくり支援の拠点機能を強化するためのH29年度経済産業省補正予算事業に採択
- 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスを充実させて開放機器や依頼試験で実績向上

第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

評 定 中期目標を概ね達成見込み (b)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウエイトを乗じて得た数値の合計値は3.1（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.1）であり、「b評価」の判断の目安である「2.7以上3.4以下」の範囲内となっている。

「業務運営の改善及び効率化に関する事項」を構成する6つの中項目の進捗はすべてb評価であり、中期目標を概ね達成見込みである。

【特記事項】

- 経営管理部事務職員の増員
- 経営企画グループを経営企画室に改組
- 定年退職者の知識や経験を活用するための再任用制度の創設・施行
- 職員（研究員及び事務職員）の能力開発研修を体系的に整理
- 労働安全衛生法等に係る管理者・主任者等によるそれぞれの業務の精査
- 安全衛生委員会への改組
- 化学物質取扱規程を見直し、化学物質のリスクアセスメントを実施
- 地独法改正に伴う業務方法書の改正、それに伴う規程類の整備

- 研究活動・公的研究費に係る不正行為・不正使用への対応等ガイドラインへの対応に係る規程類の整備
- セキュリティ及びコンピュータによる情報漏洩防止の対策強化
- 業務継続計画（BCP）の策定及び継続的な見直しの実施

第3 財務内容の改善に関する事項

評 定 中期目標を十分達成見込み (a)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.6（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.5）であり、「a評価」の判断の目安である「3.5以上4.2以下」の範囲内となっている。

「財務内容の改善に関する事項」を構成する2つの中項目について、「自己収入の確保」の進捗はa評価、「経費の抑制」の進捗はb評価であり、中期目標を十分達成見込みである。

【特記事項】

- 機器整備や研究開発に係る競争的資金の獲得
- 開放機器や依頼試験の実績向上による利用金額の増加
- 厳密かつ効果的な予算配分による予算編成及び効果的な予算執行
- 比較的規模の小さな経費の精査による経費縮減

第4 その他業務運営に関する重要事項

評 定 中期目標を概ね達成見込み (b)

当該大項目内の中項目別評価の評点平均値に各中項目のウェイトを乗じて得た数値の合計値は3.3（当該大項目内の細項目別評価の評点の単純平均値は3.3）であり、「b評価」の判断の目安である「2.7以上3.4以下」の範囲内となっている。

「その他業務運営に関する重要事項」を構成する2つの中項目の進捗は、「施設設備の適切な管理」がa評価、「環境負荷の低減」がb評価であり、中期目標を概ね達成見込みである。

【特記事項】

- 施設・設備の保守業務について、計画的に予算配分することで、安全性や業務の信頼性を確保
- 必要性の高い修繕に対して、優先的に予算執行することで施設・設備を良好な状態に保持
- 施設利用者の要望を反映させる仕組みとして利用者アンケートを実施
- JAXA 展示コーナーの設置及び一定期間、展示コーナーの土日開放
- 廃棄物管理の体制と規程の見直し

3 平成26～29年度業務の評価（概要）

【大項目】第1 県民サービスの質の向上

（評定：a (a) 大項目ウエイト平均：3.8）

（H26：4.2, H27：3.9, H28：3.9, H29：3.9）

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書																								
		主な取組																									
第1-1 地域イノベーションの推進	a	中項目ウエイト平均：4.0 (H26：4.0, H27：4.0, H28：4.0, H29：4.0)	—																								
第1-1(1) 推進体制の整備	4 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (4)	中期計画を十分達成見込み ○国等の補助事業を活用し、3つのチームにより地域イノベーション創出のための活動を推進 ○国の中間評価（地域イノベーション戦略推進地域及び戦略支援プログラム）で高い評価（A評価）（H28） ○新たに水素関連技術支援チームを設置し、水素関連技術の支援機能を強化（H28） ○環境・エネルギー分野で累計35件、医療関連分野で累計18件の事業化	9																								
第1-1(2) 関係機関との連携による研究開発・事業化促進	4 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (5)	中期計画を十分達成見込み ○イノベーション推進センター及び産学公連携室を中心とした優れた取組による競争的資金獲得で多くの実績 <イノベーション推進センター関連> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>29(23)</td><td>29(15)</td><td>34(14)</td><td>25(6)</td></tr> </table> ※（）内、新規件数 <産学公連携関連> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>12(9)</td><td>10(4)</td><td>13(11)</td><td>16(10)</td></tr> </table> ※（）内、新規件数 <ものづくり補助金計画書作成支援> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr><th>H26</th><th>H27</th><th>H28</th><th>H29</th></tr> <tr><td>53(25)</td><td>84(39)</td><td>63(35)</td><td>-</td></tr> </table> ※（）内、採択件数	H26	H27	H28	H29	29(23)	29(15)	34(14)	25(6)	H26	H27	H28	H29	12(9)	10(4)	13(11)	16(10)	H26	H27	H28	H29	53(25)	84(39)	63(35)	-	13
H26	H27	H28	H29																								
29(23)	29(15)	34(14)	25(6)																								
H26	H27	H28	H29																								
12(9)	10(4)	13(11)	16(10)																								
H26	H27	H28	H29																								
53(25)	84(39)	63(35)	-																								

第 1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進	a	中項目ウエイト平均：3.6 (H26：4.3, H27：3.9, H28：3.5, H29：3.8)	—																																										
第 1-2(1) 実用化研究への取り組み	3 H29 (3) H28 (3) H27 (4) H26 (4)	中期計画を概ね達成見込み ・技術戦略に基づく実用化研究が概ね順調に進み、知財化・事業化が進展（テーマ数） <table border="1" data-bbox="834 349 1345 465"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7 (3件)</td> <td>11 (2件)</td> <td>8 (2件)</td> <td>7 (1件)</td> <td>延べ33 (8件)</td> </tr> </tbody> </table> ※（）内、事業化件数 ・技術グループ横断的な取組 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「ものづくりチーム」編成（H27） ➢ 「ものづくりチーム」を「3D ものづくりチーム」と「製品開発チーム」に再編（H29） 	H26	H27	H28	H29	計	7 (3件)	11 (2件)	8 (2件)	7 (1件)	延べ33 (8件)	17																																
H26	H27	H28	H29	計																																									
7 (3件)	11 (2件)	8 (2件)	7 (1件)	延べ33 (8件)																																									
第 1-2(2) 研究開発成果の普及・活用	3	小項目	—																																										
ア 研究開発成果の発信・活用支援	3 H29 (4) H28 (3) H27 (3) H26 (4)	中期計画を概ね達成見込み ・研究報告書等の刊行、ホームページ、技術発表会等により研究開発成果の積極的発信 ・共同研究・受託研究の実施状況（テーマ数） <table border="1" data-bbox="826 976 1342 1093"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table> ○研究成果の事業化・商品化実績（件数） <table border="1" data-bbox="826 1133 1302 1211"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	H29	計	共同研究	16	14	3	9	42	受託研究	7	11	10	11	39	H26	H27	H28	H29	計	5	4	4	7	20	20														
	H26	H27	H28	H29	計																																								
共同研究	16	14	3	9	42																																								
受託研究	7	11	10	11	39																																								
H26	H27	H28	H29	計																																									
5	4	4	7	20																																									
イ 知的財産の管理	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	中期計画を概ね達成見込み ・研究開発成果の知的財産化や権利の廃棄・継続を速やかに実施し、適切な知財管理を行った。 (件数) <table border="1" data-bbox="794 1529 1342 1832"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職務発明</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>特許出願</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>審査請求 (内早期)</td> <td>3 (0)</td> <td>6 (0)</td> <td>4 (0)</td> <td>6 (1)</td> <td>19 (0)</td> </tr> <tr> <td>特許登録</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>権利の処分※</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>新規使用許諾</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> ※ 過年度失効、期間満了及び放棄 ・知財管理の質の向上のため、知財研修や弁理士を交えた技術グループ毎の知財勉強会を実施		H26	H27	H28	H29	計	職務発明	7	4	4	7	22	特許出願	5	7	2	9	23	審査請求 (内早期)	3 (0)	6 (0)	4 (0)	6 (1)	19 (0)	特許登録	6	8	6	5	25	権利の処分※	1	0	1	9	11	新規使用許諾	5	4	6	5	20	21
	H26	H27	H28	H29	計																																								
職務発明	7	4	4	7	22																																								
特許出願	5	7	2	9	23																																								
審査請求 (内早期)	3 (0)	6 (0)	4 (0)	6 (1)	19 (0)																																								
特許登録	6	8	6	5	25																																								
権利の処分※	1	0	1	9	11																																								
新規使用許諾	5	4	6	5	20																																								

<p>第 1-2(3) 研究会活動の積極的展開</p>	<p>4 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (4)</p>	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>○やまぐちブランド技術研究会、新エネルギー研究会活動による継続的支援 (やまぐちブランド技術研究会)</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術革新計画承認 <table border="1" data-bbox="858 327 1241 405"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 展示会への出展 <table border="1" data-bbox="810 443 1337 723"> <thead> <tr> <th>展示会</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新価値創造展 2015</td> <td>出展3 会員、来場者約 300 名、商談件数 31 件、取引成立 4 件</td> </tr> <tr> <td>エコプロダクツ 2015</td> <td>出展2 会員、来場者約 290 名、商談件数 10 件</td> </tr> <tr> <td>新価値創造展 2016</td> <td>出展2 会員、来場者 199 名、商談件数 21 件、取引成立 1 件</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> (新エネルギー研究会) 事業化：3 件 <p>○3D ものづくり研究会の設立(H26)と積極的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ニーズに基づく試作 (6 件 (H27)、2 件 (H28) 2 件 (H29))、事業化 2 件 <p>○衛星データ解析技術研究会の設立(H28)と積極的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 16 回の研究会等開催。プロポーザル公募して 	H26	H27	H28	H29	6件	5件	5件	6件	展示会	内容	新価値創造展 2015	出展3 会員、来場者約 300 名、商談件数 31 件、取引成立 4 件	エコプロダクツ 2015	出展2 会員、来場者約 290 名、商談件数 10 件	新価値創造展 2016	出展2 会員、来場者 199 名、商談件数 21 件、取引成立 1 件	<p>22</p>
H26	H27	H28	H29																
6件	5件	5件	6件																
展示会	内容																		
新価値創造展 2015	出展3 会員、来場者約 300 名、商談件数 31 件、取引成立 4 件																		
エコプロダクツ 2015	出展2 会員、来場者約 290 名、商談件数 10 件																		
新価値創造展 2016	出展2 会員、来場者 199 名、商談件数 21 件、取引成立 1 件																		
<p>第 1-2(4) 研究開発計画策定や資金獲得支援 (国等の提案公募型事業獲得支援)</p>	<p>4 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (5)</p>	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>○企業の技術革新計画の承認支援 (再掲)</p> <table border="1" data-bbox="834 1384 1217 1462"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> </tr> </table> <p>○技術革新計画承認企業に対する開放機器使用料及び新事業支援センター月額使用料金の減免措置施行 (H28)</p> <p>○国等の提案公募型事業 (競争的資金) 獲得 (延べ 274 件) の積極的支援</p> <table border="1" data-bbox="834 1664 1257 1742"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>66(57)</td> <td>78(58)</td> <td>82(60)</td> <td>41(16)</td> </tr> </table> <p>※ () 内新規件数</p>	H26	H27	H28	H29	6件	5件	5件	6件	H26	H27	H28	H29	66(57)	78(58)	82(60)	41(16)	<p>25</p>
H26	H27	H28	H29																
6件	5件	5件	6件																
H26	H27	H28	H29																
66(57)	78(58)	82(60)	41(16)																

第1-2(5) 数値目標	5	小項目	—																								
ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数 5年間合計 55件 (H26～H29年度4年間の目標合計 44件)	3 H29 (5) H28 (2) H27 (4) H26 (3)	数値目標をまだ未達成 (概ね達成見込み) 達成率 78% (98%) ◎特許等の出願及び新規使用許諾件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>内訳</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特許等出願</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>新規使用許諾</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>14</td> <td>43</td> </tr> </tbody> </table> ※目標達成まであと12件 ※4年間の目標合計に対しては98%の達成率	内訳	H26	H27	H28	H29	計	特許等出願	5	7	2	9	23	新規使用許諾	5	4	6	5	20	合計	10	11	8	14	43	28
内訳	H26	H27	H28	H29	計																						
特許等出願	5	7	2	9	23																						
新規使用許諾	5	4	6	5	20																						
合計	10	11	8	14	43																						
イ 山口県技術革新計画の承認支援件数 5年間合計 20件 (H26～H29年度4年間の目標合計 16件)	5 H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)	数値目標を達成済み 達成率 110% (138%) ◎支援した全ての企業が計画承認 (再掲) <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6件</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>6件</td> <td>22件</td> </tr> </tbody> </table> ※目標を2件上回り、既に達成済み ※4年間の目標合計に対しては138%の達成率	H26	H27	H28	H29	計	6件	5件	5件	6件	22件	28														
H26	H27	H28	H29	計																							
6件	5件	5件	6件	22件																							
ウ 国等の提案公募型事業の獲得件数 5年間合計 30件 (H26～H29年度4年間の目標合計 24件)	5 H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)	数値目標を達成済み 達成率 153% (192%) ◎センターで実施契約を伴うもの (件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 (5)</td> <td>10 (2)</td> <td>14 (9)</td> <td>14 (4)</td> <td>46 (20)</td> </tr> </tbody> </table> ※ () 内、新規件数 ※目標を16件上回り、既に達成済み ※4年間の目標合計に対しては192%の達成率 (参考H29) ・サポイン2件、・農林水産省補助事業4件 ・中国電力技術研究財団2件、・バリュープログラム、やまぎん助成基金、NEDO、スーパークラスター、地域イノベーション戦略支援プログラム、ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業 各1件	H26	H27	H28	H29	計	8 (5)	10 (2)	14 (9)	14 (4)	46 (20)	28														
H26	H27	H28	H29	計																							
8 (5)	10 (2)	14 (9)	14 (4)	46 (20)																							
エ 研究開発・技術支援が事業化 (商品化) に至った件数 5年間合計 40件 (H26～H29年度4年間の目標合計 32件)	5 H29 (5) H28 (5) H27 (4) H26 (5)	数値目標を達成済み 達成率 100% (125%) ◎研究開発・技術支援が事業化 (商品化) 件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10 (5)</td> <td>8 (4)</td> <td>10 (4)</td> <td>12 (7)</td> <td>40 (20)</td> </tr> </tbody> </table> ※ () 内、研究開発 ※目標値どおり既に達成済み ※4年間の目標合計に対しては125%の達成率	H26	H27	H28	H29	計	10 (5)	8 (4)	10 (4)	12 (7)	40 (20)	29														
H26	H27	H28	H29	計																							
10 (5)	8 (4)	10 (4)	12 (7)	40 (20)																							

第 1-3 「中核的技術支援拠点」として更なる機能強化	a	中項目ウエイト平均：3.6 (H26：3.6, H27：3.8, H28：4.0, H29：3.8)	—								
第 1-3(1) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実（産学公の連携）	3 H29 (4) H28 (4) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学・国公設試や民間機関、やまぐち産業振興財団や金融機関等との連携を深めて、産学公金連携による企業支援 ○やまぐち事業化支援・連携コーディネート会議での山口大学との連携強化(H28) ○政府機関の一部移転、水素関連技術支援拠点機能強化など 5 件の国・県の施策への取組(H28) ○産業技術センターの 3D ものづくり支援の拠点機能を強化する経済産業省補正予算事業に採択(H29) 	30								
第 1-3(2) 技術相談の充実	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術相談対応の専任者を配置し、迅速かつ的確な対応 ・グループウェアによる情報共有や技術相談室を中心とした複数グループの連携等による多様な技術課題への対応力強化 ・サテライト窓口における周南地域地場産業振興センターと連携した企業訪問実施 ・県内企業の海外展開支援に係る当センターの基本方針を定め、外部機関と連携して県内企業の海外展開を支援（H28, H29）、当センター企画の現地調査（H28, H29） 	36								
第 1-3(3) 新たな技術課題の掘り起こし（農商工連携等の取組支援）	4 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (4)	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業・漁業分野については、県内事業者や公設試等から課題抽出を行い延べ 44 テーマの研究開発に反映させ、11 件の事業化と、国等の提案公募型研究に延べ 14 テーマが採択（農業・漁業分野の研究開発テーマ数） <table border="1" data-bbox="826 1688 1209 1771"> <thead> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11</td> <td>8</td> <td>12</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○サービス分野については、医療関連の課題の掘り起こしから 12 件の事業化、衛星データの情報産業への展開で国等の提案公募型研究に 1 テーマが採択 	H26	H27	H28	H29	11	8	12	13	38
H26	H27	H28	H29								
11	8	12	13								

<p>第 1-3(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実</p>	<p>3 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (3)</p>	<p>小項目 中期計画を概ね達成見込み</p>	<p>—</p>																																						
<p>技術支援機能の強化</p>	<p>4 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (3)</p>	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>○企業のニーズを反映した機器整備</p> <table border="1" data-bbox="836 539 1217 618"> <tr> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>○技術支援サービス向上に必要な機器整備（新規・更新・増設）</p> <table border="1" data-bbox="836 696 1123 775"> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>21</td> <td>14</td> <td>18</td> </tr> </table> <p>○機器の寿命の長期化のための修繕</p> <table border="1" data-bbox="836 813 1027 891"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>8</td> <td>3</td> </tr> </table> <p>○電話・窓口対応、事務手続き、技術支援サービス等の満足度が94%以上</p> <table border="1" data-bbox="799 969 1275 1104"> <tr> <th>対応</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>電話や窓口</td> <td>98%</td> <td>94%</td> <td>94%</td> <td>96%</td> </tr> <tr> <td>事務手続き等</td> <td>95%</td> <td>93%</td> <td>99%</td> <td>98%</td> </tr> <tr> <td>技術支援</td> <td>95%</td> <td>96%</td> <td>94%</td> <td>96%</td> </tr> </table> <p>・機器活用事例のパネル作成・掲示 ・食品関連企業利用促進対策（調味料メーカー及び水産加工業者向け）の実施</p>	H26	H27	H28	H29	4	4	2	5	H27	H28	H29	21	14	18	H28	H29	8	3	対応	H26	H27	H28	H29	電話や窓口	98%	94%	94%	96%	事務手続き等	95%	93%	99%	98%	技術支援	95%	96%	94%	96%	<p>41</p>
H26	H27	H28	H29																																						
4	4	2	5																																						
H27	H28	H29																																							
21	14	18																																							
H28	H29																																								
8	3																																								
対応	H26	H27	H28	H29																																					
電話や窓口	98%	94%	94%	96%																																					
事務手続き等	95%	93%	99%	98%																																					
技術支援	95%	96%	94%	96%																																					
<p>ア 開放機器</p>	<p>3 H29 (3) H28 (4) H27 (4) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・計画的な機器の保守・校正を継続的に行い、開放機器の信頼性を確保 ・開放機器一覧の継続的な配布(～H29)</p> <p>○中国地域 5 県及び熊本地震対応での使用料の県内と同一料金化（中国 5 県：41 件(H28)、86 件(H29 件)、熊本地震対応 3 件(H28)</p> <p>○技術革新承認企業の開放機器使用料金減免措置の施行（H28） (制度利用)</p> <table border="1" data-bbox="828 1675 1056 1742"> <tr> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>○開放機器専門操作補助員の 2 名増員が効果的に機能し、利用件数が増加傾向 ※H27 に 過去最高を達成</p> <table border="1" data-bbox="791 1865 1227 2029"> <tr> <th>年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> <tr> <td>利用件数 (件)</td> <td>3,078</td> <td>3,565</td> <td>3,430</td> <td>3,066</td> </tr> <tr> <td>利用金額 (千円)</td> <td>20,629</td> <td>20,078</td> <td>20,482</td> <td>17,904</td> </tr> </table>	H28	H29	2	1	年度	H26	H27	H28	H29	利用件数 (件)	3,078	3,565	3,430	3,066	利用金額 (千円)	20,629	20,078	20,482	17,904	<p>44</p>																			
H28	H29																																								
2	1																																								
年度	H26	H27	H28	H29																																					
利用件数 (件)	3,078	3,565	3,430	3,066																																					
利用金額 (千円)	20,629	20,078	20,482	17,904																																					

	イ 依頼試験	3 H29 (4) H28 (4) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・試験方法の見直しや機器の保守、校正を継続的に行い、試験結果の公正性を確保と、オーダーメイド試験による柔軟な対応</p> <p>○オーダーメイド試験（以下、O.M.）の割合が毎年増加（～H28）し、H29年度はO.M.試験以外の利用件数の増加により、利用金額が過去最高</p> <table border="1" data-bbox="794 450 1345 618"> <thead> <tr> <th colspan="2">年度</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">利用件数(件)</td> <td>621</td> <td>558</td> <td>577</td> <td>643</td> </tr> <tr> <td colspan="2">利用金額(千円)</td> <td>8,840</td> <td>10,688</td> <td>13,446</td> <td>14,176</td> </tr> <tr> <td>O.M.*</td> <td>利用件数</td> <td>20%</td> <td>22%</td> <td>30%</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>利用金額</td> <td>36%</td> <td>54%</td> <td>65%</td> <td>58%</td> </tr> </tbody> </table> <p>*O.M.：オーダーメイド試験</p>	年度		H26	H27	H28	H29	利用件数(件)		621	558	577	643	利用金額(千円)		8,840	10,688	13,446	14,176	O.M.*	利用件数	20%	22%	30%	23%	割合	利用金額	36%	54%	65%	58%	44					
年度		H26	H27	H28	H29																																		
利用件数(件)		621	558	577	643																																		
利用金額(千円)		8,840	10,688	13,446	14,176																																		
O.M.*	利用件数	20%	22%	30%	23%																																		
割合	利用金額	36%	54%	65%	58%																																		
	ウ 受託研究・共同研究	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・企業からの共同研究・受託研究の実施状況（再掲）</p> <table border="1" data-bbox="794 887 1227 1055"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同研究</td> <td>16 (9)</td> <td>14 (4)</td> <td>3 (1)</td> <td>9 (3)</td> </tr> <tr> <td>受託研究</td> <td>7 (0)</td> <td>11 (0)</td> <td>10 (0)</td> <td>11 (0)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※0内は、複数年にまたがるもの。</p> <p>・開始時期、研究期間の柔軟な対応（共同研究：計17件）</p>		H26	H27	H28	H29	共同研究	16 (9)	14 (4)	3 (1)	9 (3)	受託研究	7 (0)	11 (0)	10 (0)	11 (0)	45																				
	H26	H27	H28	H29																																			
共同研究	16 (9)	14 (4)	3 (1)	9 (3)																																			
受託研究	7 (0)	11 (0)	10 (0)	11 (0)																																			
	エ 技術者研修	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・技術者受入研修：計60名</p> <table border="1" data-bbox="794 1368 1270 1686"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>技術者受入研修</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>スポット研修 (2週間以内)</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>学生研修生</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>インターンシップ研修生</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>海外技術研修員</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>15</td> <td>12</td> <td>17</td> </tr> </tbody> </table> <p>・職員派遣研修：計8件（2件×4年）</p>		H26	H27	H28	H29	技術者受入研修	0	8	2	2	スポット研修 (2週間以内)	11	3	6	7	学生研修生	1	2	3	2	インターンシップ研修生	3	2	1	5	海外技術研修員	1	0	0	1	計	16	15	12	17	45
	H26	H27	H28	H29																																			
技術者受入研修	0	8	2	2																																			
スポット研修 (2週間以内)	11	3	6	7																																			
学生研修生	1	2	3	2																																			
インターンシップ研修生	3	2	1	5																																			
海外技術研修員	1	0	0	1																																			
計	16	15	12	17																																			

<p>オ 新事業創造支援センター</p>	<p>3 H29 (3) H28 (3) H27 (4) H26 (4)</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・入居企業に対する開放機器使用料金の減免措置及び1企業最大2室までの使用許諾実施 ・技術革新計画承認企業に対する減免制度施行(制度利用1社)</p> <p>○H27年度一時9室の入居で過去最高 ○H27年度退出企業の3社は、それぞれ山口第2テクノパークに新社屋建設、宇部新都市に新工場建設、宇部新都市貸工場進出 ○入居状況(全12室)</p> <table border="1" data-bbox="790 539 1225 689"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> </tr> <tr> <td>入居企業数(室数)</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>※年度末</td> <td>(8)</td> <td>(8)</td> <td>(6)</td> <td>(5)</td> </tr> </table>		H26	H27	H28	H29	入居企業数(室数)	7	6	5	4	※年度末	(8)	(8)	(6)	(5)	<p>46</p>									
	H26	H27	H28	H29																							
入居企業数(室数)	7	6	5	4																							
※年度末	(8)	(8)	(6)	(5)																							
<p>第1-3-(5) 数値目標</p>	<p>5</p>	<p>小項目</p>	<p>—</p>																								
<p>ア 技術相談件数 5年間合計 16,500件 (H26~H29年度4年間の 目標合計 13,200件)</p>	<p>5 H29 (4) H28 (5) H27 (5) H26 (4)</p>	<p>数値目標をまだ未達成(達成見込み) 達成率99%(124%)</p> <p>◎相談件数の推移</p> <table border="1" data-bbox="810 976 1289 1059"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>3,815</td> <td>4,324</td> <td>4,301</td> <td>3,868</td> <td>16,308</td> </tr> </table> <p>※目標達成まであと192件 ※4年間の目標合計に対しては124%の達成率</p>	H26	H27	H28	H29	計	3,815	4,324	4,301	3,868	16,308	<p>47</p>														
H26	H27	H28	H29	計																							
3,815	4,324	4,301	3,868	16,308																							
<p>イ 訪問企業数 5年間合計 1,150社 (H26~H29年度4年間の 目標合計 920社)</p>	<p>5 H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)</p>	<p>数値目標を達成済み 達成率169%(212%)</p> <p>◎訪問企業数の推移</p> <table border="1" data-bbox="799 1317 1289 1422"> <tr> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>348 (117)</td> <td>341 (272)</td> <td>532 (304)</td> <td>564 (255)</td> <td>1,948 (948)</td> </tr> </table> <p>※()内はイノベーション推進センターによるもの ※目標を798社上回り、既に達成済み ※4年間の目標合計に対しては212%の達成率</p>	H26	H27	H28	H29	計	348 (117)	341 (272)	532 (304)	564 (255)	1,948 (948)	<p>47</p>														
H26	H27	H28	H29	計																							
348 (117)	341 (272)	532 (304)	564 (255)	1,948 (948)																							
<p>ウ 開放機器・依頼試験の利用件数 5年間合計 15,200件 (H26~H29年度4年間の 目標合計 12,160件)</p>	<p>5 H29 (5) H28 (5) H27 (5) H26 (5)</p>	<p>数値目標を達成済み 達成率102%(128%)</p> <p>◎開放機器・依頼試験の利用件数推移</p> <table border="1" data-bbox="794 1704 1417 1865"> <tr> <td></td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>開放機器</td> <td>3,078</td> <td>3,565</td> <td>3,430</td> <td>3,066</td> <td>13,139</td> </tr> <tr> <td>依頼試験</td> <td>621</td> <td>558</td> <td>577</td> <td>643</td> <td>2,399</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,699</td> <td>4,123</td> <td>4,007</td> <td>3,709</td> <td>15,538</td> </tr> </table> <p>※目標を338件上回り、既に達成済み ※4年間の目標合計に対しては128%の達成率</p>		H26	H27	H28	H29	計	開放機器	3,078	3,565	3,430	3,066	13,139	依頼試験	621	558	577	643	2,399	計	3,699	4,123	4,007	3,709	15,538	<p>47</p>
	H26	H27	H28	H29	計																						
開放機器	3,078	3,565	3,430	3,066	13,139																						
依頼試験	621	558	577	643	2,399																						
計	3,699	4,123	4,007	3,709	15,538																						

【大項目】第2 業務運営の改善・効率化

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3. 1)

(H26：3.2, H27：3.0, H28：3.0, H29：3.0)

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第 2-1 運営体制や経営資源配分の見直し	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営委員会、合同会議の定期的開催による迅速な意志決定 経営管理部事務職員のプロパー化（1名）及び増員（2名）（H27、H28） 経営企画室の設置 定年退職者の豊富な知識や経験を活用するため、再任用制度を導入し（H28）、シニアスタッフを配置（H28～） 	48
第 2-2 職員の職能開発の計画的実施	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (4)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修計画に基づき、外部機関への研修派遣や外部講師を活用した所内研修を実施 職員（研究員及び事務職員）の能力開発研修を体系的に整理（H29） 所内研修や他機関の事業・研修の活用による知財管理の質の向上（H26, H28, H29：再掲） e ラーニング等による研究者行動規範教育（H27～） 	49
第 2-3 法人サービスの「見える化」	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2期「技術戦略」（ロードマップ）、山口県工業の沿革年表などなど刊行物(6種類)を発行し、ホームページへの掲載や発表会・展示会等などを通じて広く配布 機器活用事例のパネル22 機器作成・掲示（H27～：再掲） JAXA 展示コーナーの新設及び展示コーナー全体の見直し（H28） 食品関連企業利用促進対策（調味料メーカー及び水産加工業者向け）の実施 	51

<p>第2-4 コンプライアンスの確保</p>	<p>3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・労働安全衛生委員会への改組や法令に基づく管理者・主任者等についてそれぞれの業務を精査 ・化学物質取扱規程を見直し、化学物質のリスクアセスメントを実施 ・地独法改正の伴う業務方法書の改訂、それに伴う規程類の整備 ・研究活動・公的研究費に係る不正行為・不正使用への対応等ガイドラインへの対応に係る規程類の整備 </div>	<p>54</p>
<p>第2-5 情報管理の徹底</p>	<p>3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員を対象に職員教育を実施 ・情報セキュリティに関する職員への指示・伝達 ・セキュリティ及びコンピュータによる情報漏洩防止の対策強化 ✓情報セキュリティ担当のシニアスタッフを配置し、情報セキュリティ規程を見直し、セキュリティポリシーの見直しに着手 (H29) ✓ネットワーク関連更新・保守計画を作成 (H29) ✓ホームページ Web サーバー、外部 DNS サーバーの外部委託 (H29) </div>	<p>55</p>
<p>第2-6 危機管理対策の推進</p>	<p>3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)</p>	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・業務継続計画 (BCP) を策定(H26)し、随時見直しを行うとともに、検証・訓練を実施 </div>	<p>56</p>

【大項目】第3 財務内容の改善

(評定：a(a) 大項目ウエイト平均：3.6)

(H26：3.6, H27：3.6, H28：3.6, H29：3.6)

中項目 小項目 細項目	評定	評定の理由	報告書
		主な取組	
第3-1 自己収入の確保	4 H29 (4) H28 (4) H27 (4) H26 (4)	<p>中期計画を十分達成見込み</p> <p>○機器整備や研究開発に係る競争的資金の獲得 (機器整備：12 機器、研究開発：30 件)</p> <p>○イノベーション推進への外部資金の活用</p> <p>○使用料・手数料、受託研究及び知的財産の実施料などによる自己収入を確保し、H29 に依頼試験手数料が過去最高</p>	57
第3-2 経費の抑制	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・前年度事業費の実績の考慮と厳密な積算による効果的な予算配分による予算抑制</p> <p>・執行管理のため、上半期終了後に予算執行状況の集計・再配分を実施</p> <p>・比較的規模の小さな経費まで精査</p>	59

【大項目】第4 その他業務運営に関する重要事項

(評定：b (b) 大項目ウエイト平均：3. 3)

(H26：3.3, H27：3.3, H28：3.3, H29：3.3)

中項目	評定	評定の理由	報告書																									
小項目		主な取組																										
細項目																												
第4-1 施設設備の適正な管理			—																									
保守点検・修繕等の計画的な実施	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>■施設・設備の保守点検、修繕状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保守業務への計画的な予算配分 ・必要性の高い修繕への優先的な予算執行 <p>■施設の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度に JAXA 展示コーナーを設置し、H29年度には第2期 (H26以降) 最大の見学者数 	60																									
<p>【数値目標】</p> <p>来庁者数 5年間合計 55,000人</p> <p>(H26～H29年度4年間の 目標合計 44,000人)</p>	4 H29 (5) H28 (4) H27 (4) H26 (4)	<p>数値目標をまだ未達成 (達成見込み) 達成率 91% (113%)</p> <p>○計 49,779 人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設利用者</td> <td>4,216</td> <td>4,050</td> <td>4,033</td> <td>4,035</td> </tr> <tr> <td>見学者</td> <td>753</td> <td>780</td> <td>706</td> <td>1,196</td> </tr> <tr> <td>外来受付者</td> <td>6,906</td> <td>6,969</td> <td>7,974</td> <td>8,161</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,875</td> <td>11,799</td> <td>12,713</td> <td>13,392</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標達成まであと 5,221 人 ※4年間の目標合計に対しては 113%の達成率</p>		H26	H27	H28	H29	施設利用者	4,216	4,050	4,033	4,035	見学者	753	780	706	1,196	外来受付者	6,906	6,969	7,974	8,161	計	11,875	11,799	12,713	13,392	61
	H26	H27	H28	H29																								
施設利用者	4,216	4,050	4,033	4,035																								
見学者	753	780	706	1,196																								
外来受付者	6,906	6,969	7,974	8,161																								
計	11,875	11,799	12,713	13,392																								
第4-2 環境負荷の低減	3 H29 (3) H28 (3) H27 (3) H26 (3)	<p>中期計画を概ね達成見込み</p> <p>・ISO14000に準拠した取組の継続し、省エネ・省資源、ゴミの分別収集による古紙などの再資源化等の取組</p> <p>・H29年度に廃棄物管理の体制と規程の見直し</p>	62																									

4 第2期中期目標期間（見込み）評価結果を受けて、平成30年度に実施する特筆すべき事項

【第2期の目標達成に向けて】

- ① 実用化研究とその成果の知財化と実施 <第1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進>
<実用化研究への重点的な取組>
・ものづくり力の高度化・ブランド化の源になる技術シーズの獲得に向けて、実用化研究での取組をさらに充実させる。
<獲得した技術シーズの活用>
・研究開発で得られた技術シーズの速やかな知的財産化とその実施に努め、県内企業での事業化を一層推進する。
- ② 技術支援拠点としての機能強化 <第1-3「中核的技術支援拠点」として更なる機能強化>
<試験研究機器の整備と保守>
・企業ニーズを踏まえた先端的試験研究機器を整備するとともに、開放機器・依頼試験の信頼性を確保するために必要な保守・校正・修理を計画的・継続的に実施する。
<利用促進>
・県内で企業数の多い分野の利用促進に向けて、新たな業種向けのパンフレットの作成・配布や、セミナー・個別相談を引き続き実施する。
<新事業創造支援センターの利用促進>
・入居企業の開放機器使用料や室料の減免措置等の制度を有効に活用して、空室の利用促進に向けた取組を推進する。

【第3期に向けて】

- ③ 地域イノベーションの新たな取組 <第1-1 地域イノベーションの推進>
<バイオ関連分野のイノベーションの推進>
・イノベーション推進センターに新たにバイオ関連推進チームを創設し、バイオテクノロジーを専門とするプロジェクトプロデューサーを県内大手企業から招聘し、これまでの医療関連分野、環境・エネルギー分野にバイオテクノロジーで横串を入れるとともに、食品などの新たなバイオ関連分野を含めたイノベーションに取り組む。
- ④ ものづくり力の強化に向けた取組 <第1-2 ものづくり力の高度化・ブランド化の推進>
<製品開発力の強化>
・県内企業における自社製品の開発力を強化するため、技術グループ横断的な「製品開発チーム」による県内企業との企画段階からの共同開発の取組を加速化する。
<ものづくりのIoT化>
・県内企業のIoT導入を促進するため、IoT導入に関心のある県内企業の調査や県内IoTベンダー企業との基盤技術の開発、セミナーなどを実施し、「スマート★づくり研究会（仮称）」の創設（平成31年度）に向けた準備をする。
- ⑤ 新たな拠点機能の構築に向けた取組 <第1-3「中核的技術支援拠点」として更なる機能強化>
<3Dものづくり支援拠点>
・“粉末焼結式樹脂造型機”などを新たに導入するとともに、大容量3Dデータを管理（共有、受け渡し、セキュリティ確保）するクラウドサーバを整備し、「バーチャル3Dものづくり支援センター（仮称）」の運用開始（平成31年度）に向けて準備をする。
<衛星データ利用促進拠点>
・県内企業の衛星データ利用に係る研究開発・事業化を支援する「宇宙データ利用促進センター」の設置に向けて取り組む。

平成26年度決算

1 財務諸表（企業会計ベース）

(1) 貸借対照表の要旨（平成27年3月31日現在）（単位：百万円）

資産の部		負債及び資本の部	
固定資産	6,025	固定負債	305
有形固定資産	6,018	流動負債	76
土地	1,001		
建物	4,629	【負債合計】	380
その他	388	資本金	6,375
無形固定資産	6	資本剰余金	△655
		資本剰余金	169
		損益外減価償却累計額	△824
流動資産	174	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	102	利益剰余金	98
その他	72	積立金	77
		当期末処分利益	21
		【資本合計】	5,818
資産合計	6,199	負債・資本合計	6,199

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨（平成26年4月1日～平成27年3月31日）（単位：百万円）

費用の部		収益の部	
経常費用	836	経常収益	856
業務費	285	運営費交付金収益	567
人件費	435	使用料・手数料収益	36
管理運営費	116	特許実施料	11
		研究事業等収益	151
		資産見返負債戻入	89
		その他収益	1
臨時損失	139	臨時利益	139
(当期純利益	20)		
当期総利益	21	目的積立金取崩額	1
合計	996	合計	996

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書（官庁会計ベース）

（単位：百万円）

収入		支出	
運営費交付金	585	業務費	241
施設費	26	人件費	449
研究費収入	149	一般管理費	113
補助金収入	117	施設費	148
その他自己収入	49		
前年度繰越金	41		
積立金取崩	4		
合計	971	合計	950
収支差額			21

注) 四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

平成27年度決算

1 財務諸表（企業会計ベース）

(1) 貸借対照表の要旨（平成28年3月31日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債及び資本の部	
固定資産	5,848	固定負債	229
有形固定資産	5,826	流動負債	174
土地	1,001		
建物	4,499	【負債合計】	403
その他	326	資本金	6,375
無形固定資産	22	資本剰余金	△756
		資本剰余金	229
		損益外減価償却累計額	△985
流動資産	254	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	168	利益剰余金	80
その他	86	研究・業務運営充実積立金	21
		積立金	38
		当期末処分利益（※H26:21）	21
		【資本合計】	5,699
資産合計（※H26:6,199）	6,102	負債・資本合計	6,102

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

（単位：百万円）

費用の部		収益の部	
経常費用	966	経常収益	982
業務費	310	運営費交付金収益	663
人件費	538	使用料・手数料収益	38
管理運営費	118	特許実施料	12
		研究事業等収益	160
		資産見返負債戻入	108
		その他収益	1
臨時損失	0	臨時利益	1
（当期純利益）	16）		
		目的積立金取崩額	5
当期総利益	21		
合計（※H26:996）	987	合計	987

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書（官庁会計ベース）

（単位：百万円）

収入		支出	
運営費交付金	691	業務費	206
施設費	50	人件費	538
研究費収入	120	一般管理費	115
補助金収入	70	施設費	91
その他自己収入	1		
前年度繰越金	0		
積立金取崩	39		
合計（※H26:971）	971	合計	950
収支差額			21

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

平成28年度決算

1 財務諸表（企業会計ベース）

(1) 貸借対照表の要旨（平成29年3月31日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,666	固定負債	189
有形固定資産	5,650	流動負債	95
土地	1,001		
建物	4,381	【負債合計】	284
その他	268	資本金	6,375
無形固定資産	16	資本剰余金	△898
		資本剰余金	260
		損益外減価償却累計額	△1,158
流動資産	167	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	44	利益剰余金	72
その他	123	前中期目標期間繰越積立金	13
		研究・業務運営充実積立金	42
		当期末処分利益（※H27:21）	17
		【純資産合計】	5,549
資産合計（※H27:6,102）	5,833	負債・純資産合計	5,833

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（単位：百万円）

費用の部		収益の部	
経常費用	948	経常収益	949
業務費	330	運営費交付金収益	614
人件費	492	使用料・手数料収入	38
管理運営費	126	特許実施料	12
		受託事業等収益	188
		資産見返負債戻入	91
		その他収益	5
臨時損失	0	臨時利益	0
（当期純利益）	1)		
当期総利益	17	目的積立金取崩額	16
合計（※H27:987）	965	合計	965

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書（官庁会計ベース）

（単位：百万円）

収入		支出	
運営費交付金等	645	業務費	253
使用料・手数料等収入	50	人件費	492
研究費収入	157	一般管理費	121
補助金収入	78	施設費	74
その他自己収入	1		
前年度繰越金	0		
目的積立金取崩	25		
合計（※H27:971）	956	合計	940
収支差額			17

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

平成29年度決算

1 財務諸表（企業会計ベース）

(1) 貸借対照表の要旨（平成30年3月31日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	5,500	固定負債	167
有形固定資産	5,484	流動負債	169
土地	1,001		
建物	4,261	【負債合計】	336
その他	222	資本金	6,375
無形固定資産	16	資本剰余金	△1,042
		資本剰余金	289
		損益外減価償却累計額	△1,330
流動資産	237	損益外減損損失償却累計額	△1
現金及び預金	79	利益剰余金	68
その他	158	前中期目標期間繰越積立金	9
		研究・業務運営充実積立金	59
		当期末処分利益（※H28:17）	0
		【純資産合計】	5,401
資産合計（※H28:5,833）	5,737	負債・純資産合計	5,737

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(2) 損益計算書の要旨（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

費用の部		収益の部	
経常費用	924	経常収益	923
業務費	309	運営費交付金収益	589
人件費	496	使用料・手数料収入	37
管理運営費	119	特許実施料	1
		受託事業等収益	225
		資産見返負債戻入	70
		その他収益	1
臨時損失	0	臨時利益	0
（当期純利益）	△1		
		目的積立金取崩額	1
当期総利益	0		
合計（※H28:965）	924	合計	924

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

2 決算報告書（官庁会計ベース）

（単位：百万円）

収入		支出	
運営費交付金等	629	業務費	253
使用料・手数料等収入	36	人件費	496
研究費収入	193	一般管理費	115
補助金収入	67	施設費	67
その他自己収入	2		
前年度繰越金	0		
目的積立金取崩	4		
合計（※H28:956）	931	合計	931
収支差額			0

注）四捨五入の関係で、計が合わないことがあります。

(別表) 平成 26-29 年度評価における項目別評価結果総括表

(大項目) (中項目) (小項目) (細項目)	H26	H27	H28	H29	中期計画 における 対象細項 目数	年度計画 における 対象細項 目数	細項目別評価の評点内訳 (個数)					細項目別 評価の評 点の平均 値	小項目 別評価 の評点	各小項目のウエイト		中項目別 評価 (加重平 均値)	各中項目のウエイト		大項目別 評価 (加重平 均値)	各大項目 のウエイ ト	全体評価 (加重平 均値)	
							5 点	4 点	3 点	2 点	1 点			計	配分		考え方	配分				考え方
全体評価					34	34	25	45	65	1	0	136										
第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上					23	23	24	37	30	1	0	92										
1 戦略産業の育成・集積に向けた地域イノベーションの推進					2	2	1	7	0	0	0	8					ウエイト平均 a(4.0)	0.4	戦略産業の育成・集積に向けた地域イノベーションの推進に重点を置いて配分	ウエイト平均 a(3.8)	0.7	
(1) 戦略産業分野における研究開発を支援する体制の整備 各種研究開発プロジェクトを総合的に推進する体制の構築と運営	4	4	4	4	1	1	0	4	0	0	4	4.0	4	いずれも重要な取り組みでありウエイトは等分に配分	単純平均 a(4.0)							
(2) 産学公や企業間連携による研究開発・事業化の促進 企業間や産学公が連携した研究開発プロジェクトの発掘等	5	4	4	4	1	1	1	3	0	0	4	4.3	4									
2 中小企業力の向上に向けたものづくり力の高度化・ブランド化の推進					9	9	13	13	9	1	0	36					ウエイト平均 a(3.6)					0.3
(1) 事業化戦略を踏まえた実用化研究への重点的取組 第2期技術戦略の明示と計画的な研究開発の実施	4	4	3	3	1	1	0	2	2	0	4	3.5	3									
(2) 研究開発成果の普及とその活用 ア 研究開発成果の発信とその成果の活用支援 イ 知的財産の適切な管理	4	3	3	4	1	1	0	2	2	0	4	3.5	3									
(3) 各種技術研究会活動の積極的展開 各種技術研究会活動の積極的な展開及び研究開発の促進	4	4	4	4	1	1	0	4	0	0	4	4.0	4									
(4) 研究開発計画策定や資金獲得の支援 研究開発計画策定や資金獲得の支援	5	4	4	4	1	1	1	3	0	0	4	4.3	4									
(5) 数値目標 ア 特許等の出願及び新規使用許諾件数 イ 山口県技術革新計画の承認支援件数 ウ センター支援による国等の提案公募型事業の獲得件数 エ 研究開発・技術支援が事業化(商品化)に至った件数	3	4	2	5	1	1	1	1	1	0	4	3.0*	3									
イ 山口県技術革新計画の承認支援件数	5	5	5	5	1	1	4	0	0	0	4	5.0*	5									
ウ センター支援による国等の提案公募型事業の獲得件数	5	5	5	5	1	1	4	0	0	0	4	5.0*	5									
エ 研究開発・技術支援が事業化(商品化)に至った件数	5	4	5	5	1	1	3	1	0	0	4	5.0*	5									
3 「中核的技術支援拠点」としての更なる機能強化					12	12	10	17	21	0	0	48			ウエイト平均 a(3.6)	0.3	いずれも重要な取り組みでありウエイトは等分に配分 *数値目標について、「細項目別評価の評点の平均値」は、それぞれの項目について、目標値に対する実績の割合から評価し、それらの単純平均値をとる。	単純平均 a(3.6)	ウエイト平均 A(3.7)			
(1) 効果的かつ切れ目のない企業支援の一層の充実 国等の産業振興施策への積極的な協力及び他の支援機関との連携	3	3	4	4	1	1	0	2	2	0	4	3.5	3									
(2) 技術相談の充実 相談窓口機能の充実及び職員の対応力の強化	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	4	3.0	3									
(3) 新たな技術課題の掘り起こし 1次産業や3次産業の技術課題を掘り起こす取組の強化	4	4	4	4	1	1	0	4	0	0	4	4.0	4									
(4) 先端的試験研究機器の整備等による技術支援サービスの充実 機器操作補助員の拡充による技術支援機能の強化 ア 開放機器 イ 依頼試験 ウ 受託研究・共同研究 エ 技術者研修 オ 新事業創造支援センターの効果的活用	3	4	4	4	1	1	0	3	1	0	4	3.8	4									
ア 開放機器	3	4	4	3	1	1	0	2	2	0	4	3.5	3									
イ 依頼試験	3	3	4	4	1	1	0	2	2	0	4	3.5	3									
ウ 受託研究・共同研究	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	4	3.0	3									
エ 技術者研修	3	3	3	3	1	1	0	0	4	0	4	3.0	3									
オ 新事業創造支援センターの効果的活用	4	4	3	3	1	1	0	2	2	0	4	3.5	3									
(5) 数値目標 ア 技術相談件数 イ 訪問企業数 ウ 開放機器・依頼試験の利用件数	4	5	5	4	1	1	2	2	0	0	4	5.0*	5									
イ 訪問企業数	5	5	5	5	1	1	4	0	0	0	4	5.0*	5									
ウ 開放機器・依頼試験の利用件数	5	5	5	5	1	1	4	0	0	0	4	5.0*	5									

